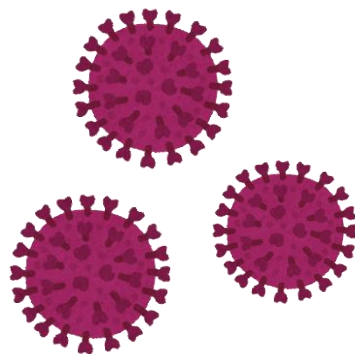


第40回奈良市新型コロナウイルス対策本部会議

(特措法に基づかない市独自の対策本部会議の40回目、合計で64回目)

新型コロナウイルスの感染状況 及び本市の対応



令和4年2月1日（火）

奈良市新型コロナウイルス対策本部

全国などの感染の状況（概要）

海外

- ・欧米における1日あたりの**新規感染者数は減少傾向**(NHKの特設サイトによる)
 米国：1月10日(月) 過去最多137万人 → 1月30日(日)10万人
 英国：1月 4日(火) 過去最多 22万人 → 1月30日(日) 6万人
 仏国：1月25日(火) 過去最多 50万人 → 1月30日(日)25万人
- ・1月26日(水)、米国CDC所長発言「死者は1日あたり2,000人超で深刻な水準」

全国

- ・多くの都道府県において、**新規陽性者数などが過去最多を連日更新**
- ・**34都道府県にまん延防止等重点措置**を適用中
 (東京都など：2月13日(日)まで、大阪府・沖縄県など：2月20日(日)まで)
- ・1月29日(土)、全国の新規陽性者が**過去最多**の84,967人
- ・1月28日(金)、東京の新規陽性者が**過去最多**の17,631人
- ・1月31日(月)、東京都の病床使用率49.2%(50%が宣言の基準)、重症病床使用率5.1%
- ・1月31日(月)、首相発言「東京への緊急事態宣言、少なくとも現時点では検討せず」
- ・1月28日(金)、国は**濃厚接触者の待機期間の更なる前倒しなど**を事務連絡
 (10日間→7日間待機・8日目に解除、エッセンシャルワーカーは最短6日間→5日間で解除)

関西 2府4県

- ・1月29日(土)、新規陽性者は**過去最多**の2府4県19,743人、大阪府10,383人
- ・1月31日(月)、大阪府警戒信号「赤」、病床使用率73.6%、重症病床使用率9.3%
- ・1月27日(木)、**和歌山県が国にまん延防止等重点措置の要請方針を伝達**⇒国で検討中
- ・1月28日(金)、大阪府知事が**重症病床使用率40%以上で宣言要請**の考え表明

詳細

- ・モニタリングの詳細は、「感染状況等のモニタリング」資料として添付

感染などの状況（前回#39コロナ会議時の状況）

（参考）

全 国	・ 1月14日(金)、国は濃厚接触者の待機期間(14日間→10日間)の短縮を各自治体に通知 ：オミクロン株の潜伏期間は3日程度と従来株より短く、99%が10日以内に発症との知見 ・ 1月19日(水)、全国の新規陽性者が過去最多の41,485人 ・ 1月19日(水)現在、東京都の病床使用率25.9%、重症病床使用率2%(レベル2) ・ 1月19日(水)、国は首都圏・東海など13都県に対するまん延防止適用を決定 (沖縄県・山口県・広島県とあわせて16都県に拡大、1月21日(金)～2月13日(日))
関西2府4県 大阪府	・ 1月19日(水)、2府4県の新規陽性者は過去最多の10,811人 ・ 1月19日(水)、大阪府の新規陽性者は過去最多の6,101人 ・ 1月19日(水)現在、大阪府警戒信号は『黄』、病床使用率31.3%、重症病床使用率2.1% (病床使用率が35%以上で、国にまん延防止適用を要請：13日(木)府知事が表明) ・ 大阪府は、高齢者施設や学校など一部を除き濃厚接触者を特定する調査を取りやめ
奈良県	・ 1月17日(月)、県内の新規陽性者は<u>過去最多の395人</u> ・ 1月19日(水)現在、<u>病床使用率は43.1%</u>、療養者数は<u>過去最多の1,800人</u> → 個別の病院を見ると、占有率が急増している病院あり
奈良市	新規陽性者の急拡大及び確保病床使用率の急増（35%超）などにより、 レベル2（警戒を強化すべきレベル）に相当するとの認識(レベルは県が総合的に判断) ・ 1月20日(木)、市内の新規陽性者は<u>過去最多の184人</u>、直近1週間も<u>過去最多の526人</u> ・ <u>奈良市保健所</u>での新規陽性者の公表持ち越し事例が急増 → <u>危機的な状況に</u> ・ 市内学校関係の新規陽性者が、1月7日(金)～20日(木)の間で81人 → 急増
詳 細	・ モニタリングの詳細については、「感染状況等のモニタリング」資料として添付

奈良県及び奈良市における新規陽性者数の推移(日々)

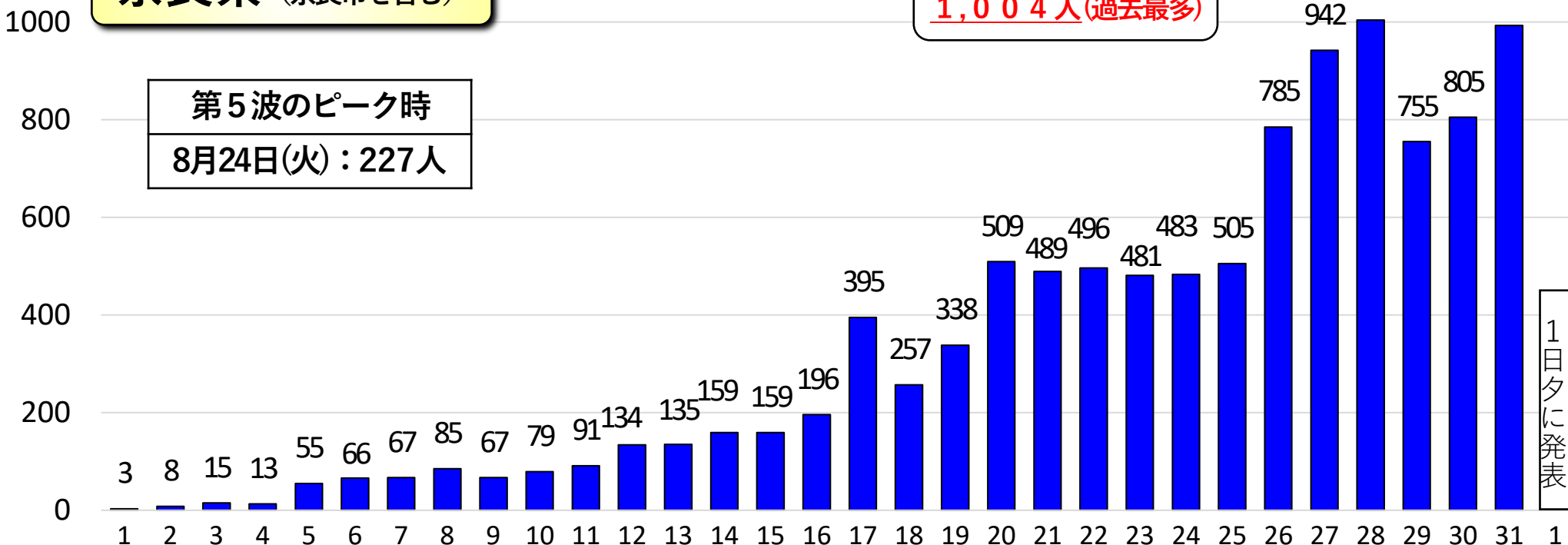
(人)

奈良県 (奈良市を含む)

第5波のピーク時

8月24日(火) : 227人

1月28日(金)
1,004人(過去最多)



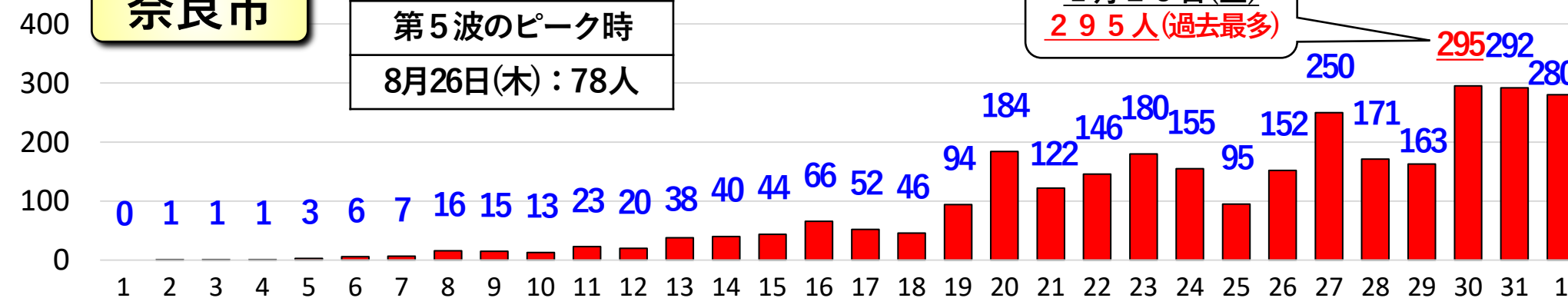
1日夕に発表

奈良市

第5波のピーク時

8月26日(木) : 78人

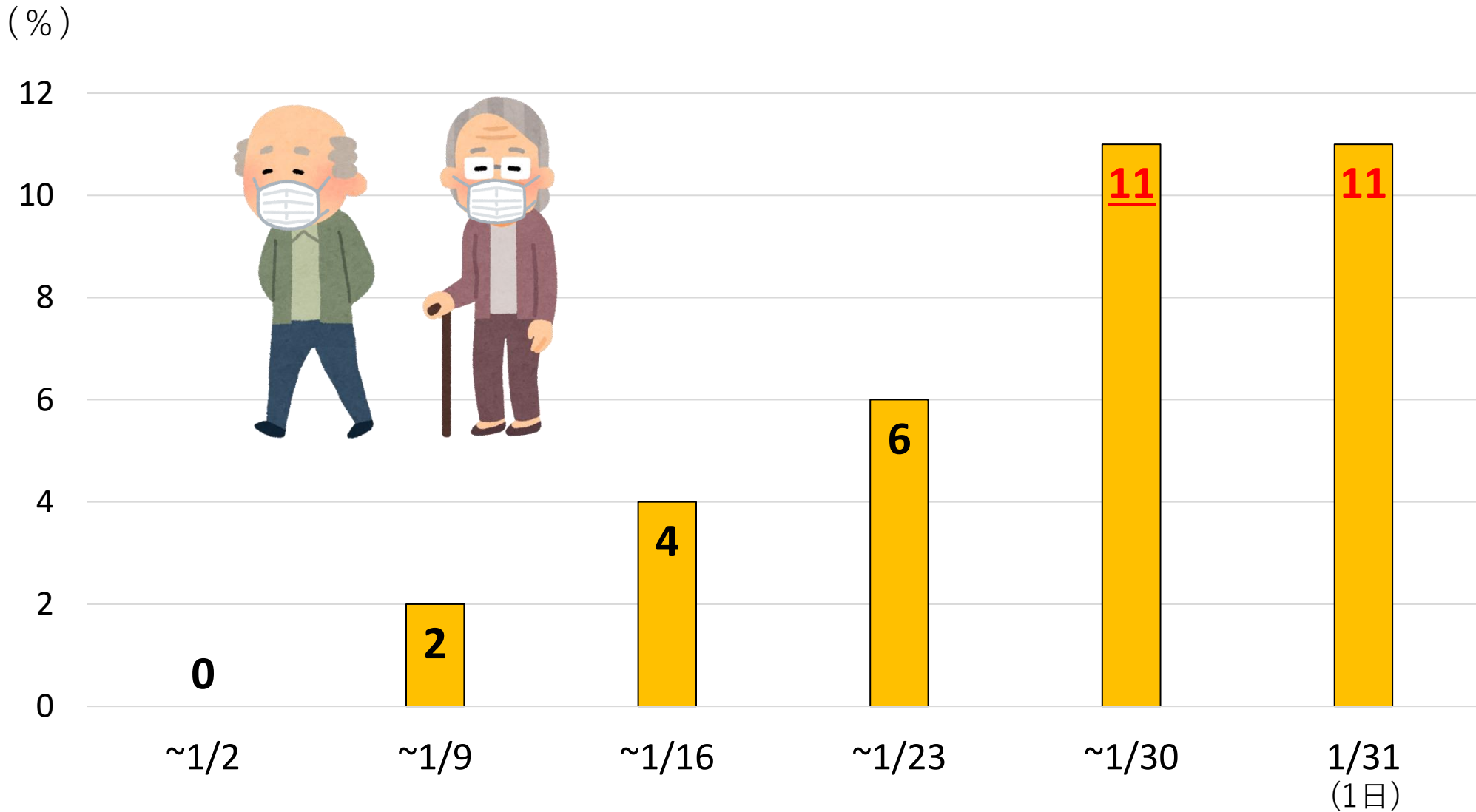
1月29日(土)
295人(過去最多)



1 月

4

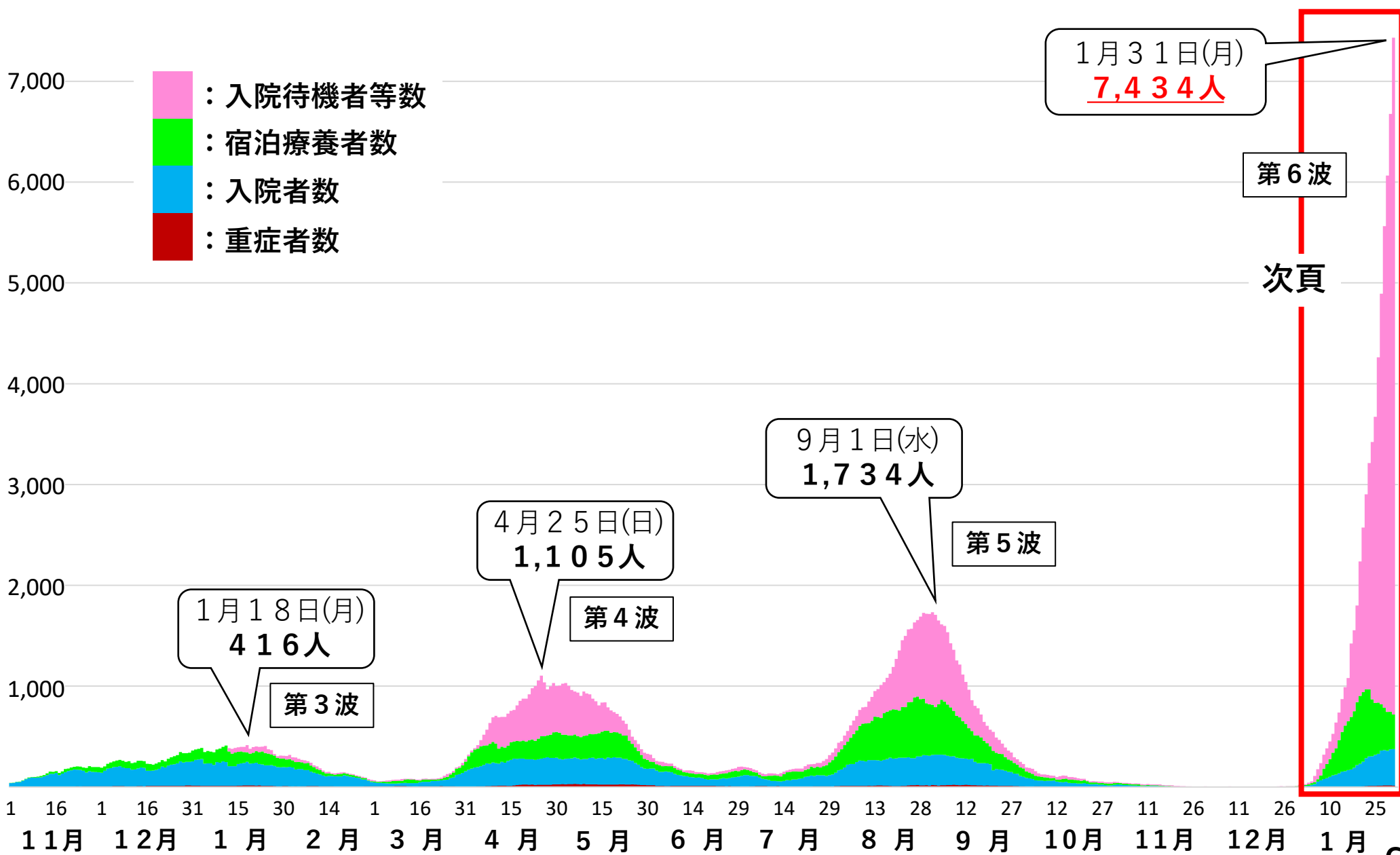
市内における高齢者の感染の割合



感染が高齢者など重症化リスクの高い方に広がってきている状況

奈良県内における療養者数、入院者数等の推移

(人)



奈良県内における療養者数、入院者数等の推移(詳細)

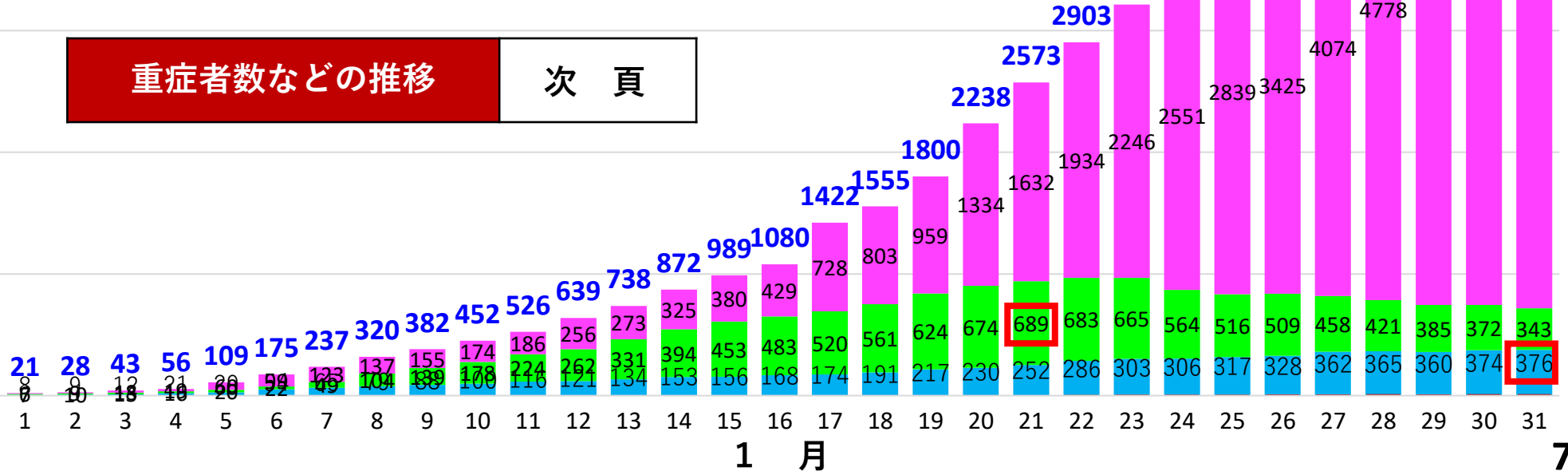
(人)

凡例	区 分	第5波のピーク時	確保病床	使用率等(1月31日(月))	
枠外 数値	療養者数	1,734人(9/1)	—	7,434人	
	入院入所 待機中等	919人(9/1)	—	6,715人	自宅療養者 (調査中) 拒否者 (調査中)
	宿泊療養数	603人(8/26) 560人(8/26)	1,083室	343人 312室	— 28.8%
	入院者数	321人(9/4)	504床	376人	74.6%
	重症者数(内数)	29人(5/9)	34床	13人	38.2%

奈良県ホームページから引用・集計

重症者数などの推移

次 頁



奈良県内における中等症者数及び重症者数の推移

中等症者数

第4波ピーク時

5月11日(火)

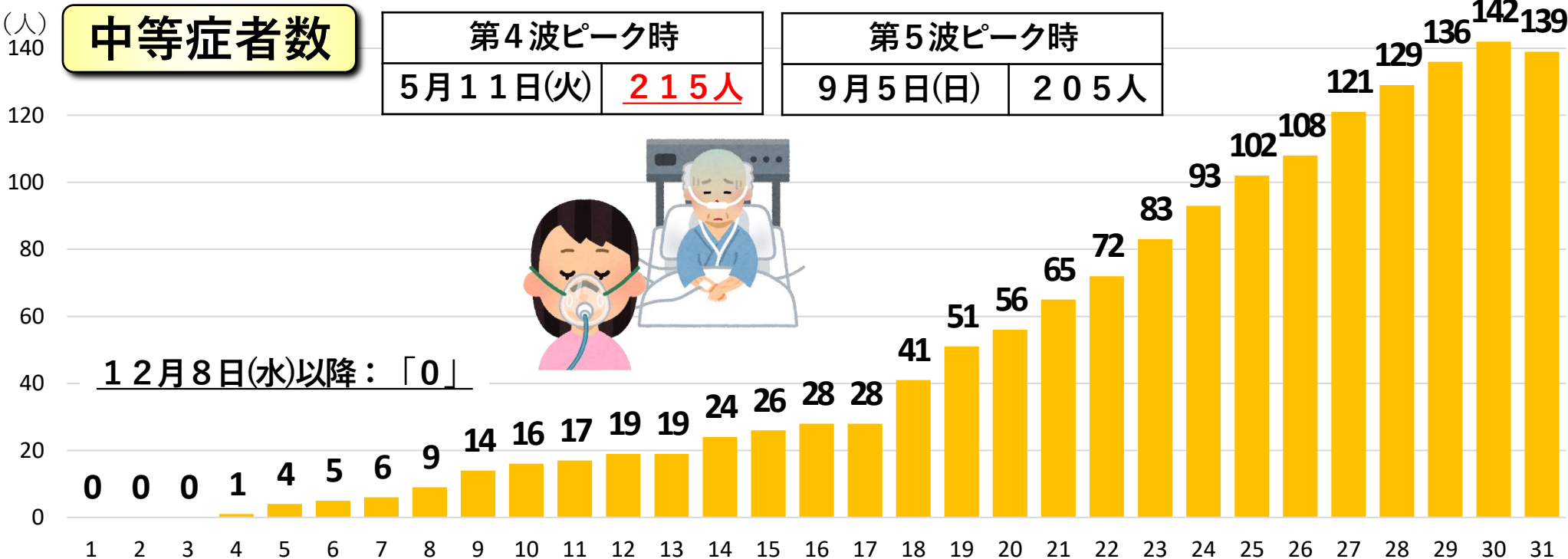
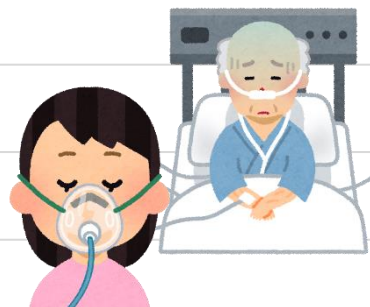
215人

第5波ピーク時

9月5日(日)

205人

12月8日(水)以降: 「0」



重症者数

第4波ピーク時

5月9日(日)

29人

第5波ピーク時

9月8日(水)

20人

10月29日(金)以降: 「0」



奈良県と大阪府等との病床使用率等の比較

	直近1週間の人口10万人あたりの感染者数		病床使用率	重症 病床使用率	まん延防止 等重点措置	各都府県が判断 したレベル
	1月31日(日)					1月30日(日)
	NHK特設サイト新型コロナウイルスによる		各都府県のホームページ		—	内閣官房HPによる
東京都	①	762.50人	49.2%	5.1%(都基準) 35%(国基準)	○	レベル2
大阪府	②	725.10人	73.6%	9.8%(府基準) 33.7%(国基準)	○	レベル2
京都府	③	586.49人	52.4% ※	39.8% ※	○	レベル2
沖縄県	⑥	474.95人	68.8%	32.1%	○	レベル3
奈良県	⑨	436.09人	74.6%	38.2%	なし	公表なし

※ 京都府の病床使用率等は、1月30日(日)の数値

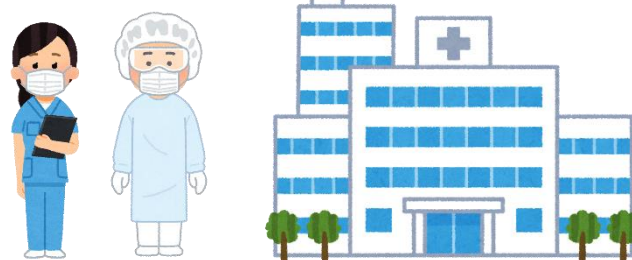
奈良県は、**レベル3**（対策を強化すべきレベル）**に相当するとの認識**

市内医療機関におけるコロナ病床の占有率の状況

(%)

	確保 病床数	13日 (木)	14日 (金)	15日 (土)	16日 (日)	17日 (月)	18日 (火)	19日 (水)	20日 (木)	21日 (金)	22日 (土)	23日 (日)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	31日 (月)
県全体	504 床	27.2	30.4	31.0	33.4	34.6	38.0	43.1	45.7	50.0	56.7	60.1	60.7	62.9	65.1	71.8	72.4	71.4	74.2	74.6
県総合医療 センター	74 床	50	45	55	18	20	18	24	32	38	43	46	51	49	54	61	66	72	82	89
市立 奈良病院	34 床	18	21	21	29	29	29	38	44	44	47	53	53	65	53	65	68	62	74	71
国立病院機構 奈良医療センター	34 床	9	12	12	12	12	21	26	35	41	47	47	56	59	44	100	91	85	85	91
吉田病院	8 床	100	25	25	25	25	25	25	50	63	63	63	63	63	63	75	63	75	63	63
済生会 奈良病院	7 床	57	71	57	57	71	71	71	71	86	86	86	86	100	86	100	100	100	100	100

※確保病床数については
最新の数値
※奈良県ホームページに
よる。



凡 例

10%未満	:	緑色
10%以上	:	黄色
20%以上	:	橙色
50%以上	:	赤色
100%	:	茶色

個別の病院を見ると、占有率が100%となっている病院あり

奈良市消防局での救急車の搬送困難事例の推移

第6波

枠外：合計

■：非コロナ疑い

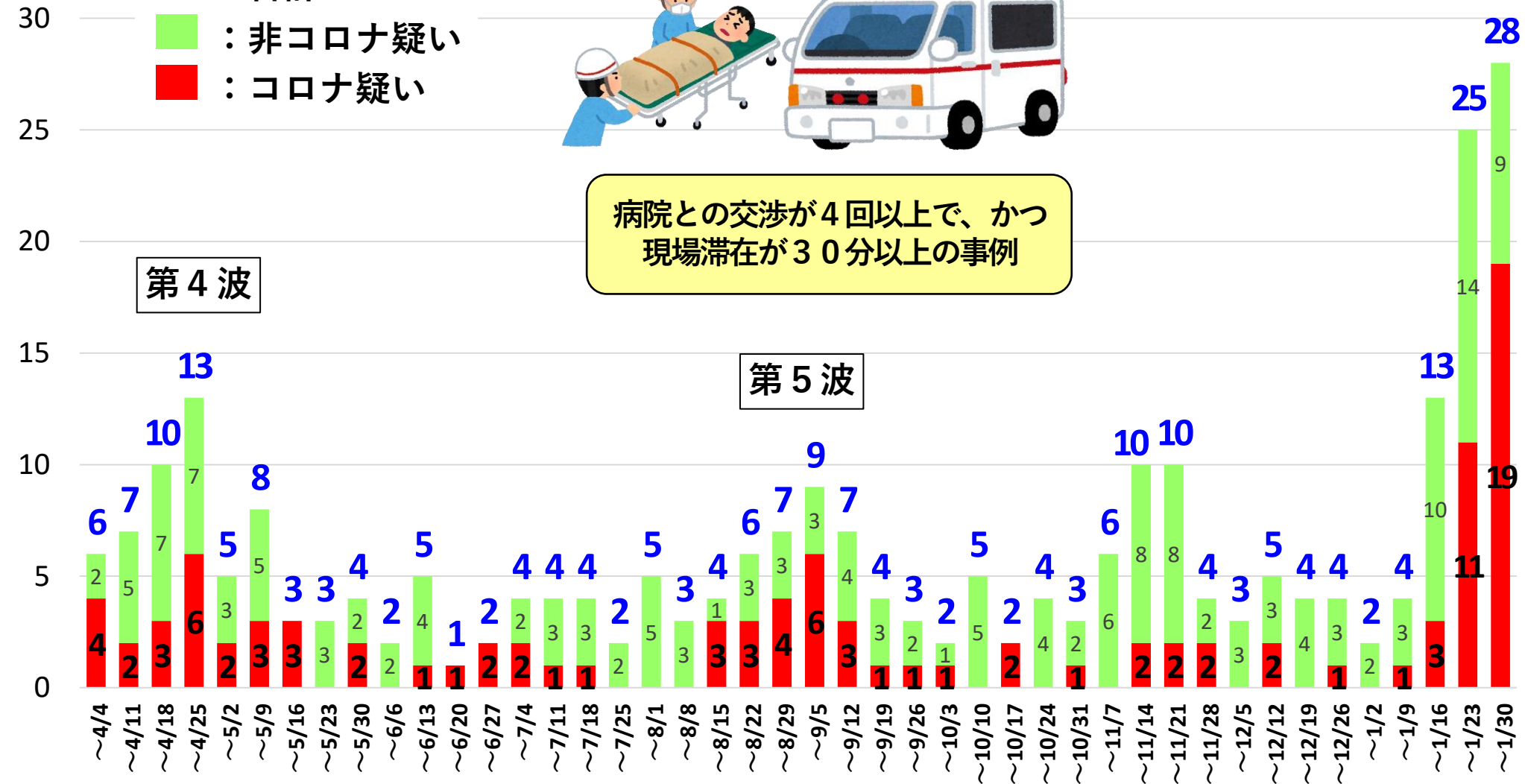
■：コロナ疑い



病院との交渉が4回以上で、かつ
現場滞在が30分以上の事例

第4波

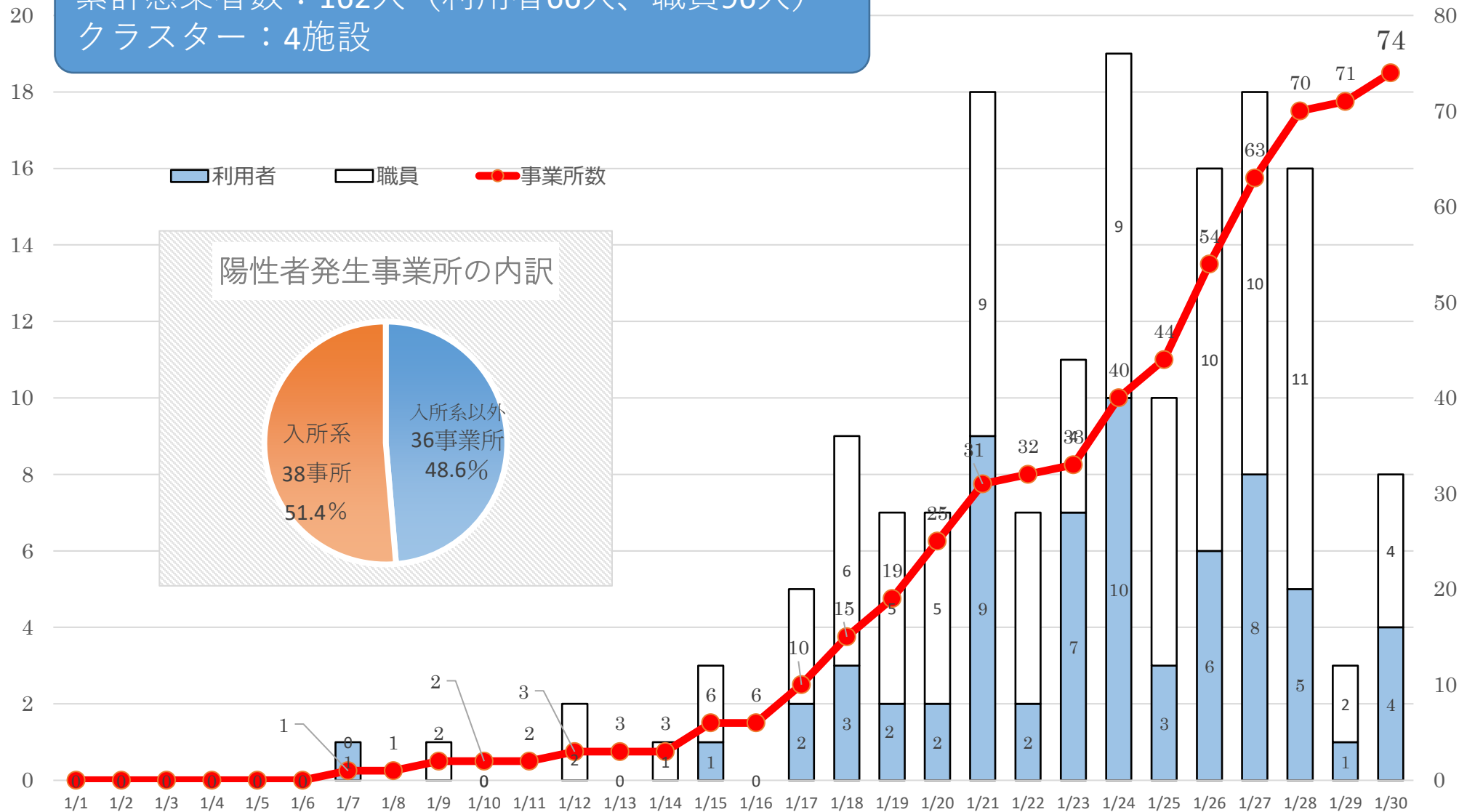
第5波



感染者の急増に伴い、搬送困難事例が急増

市内介護サービス等事業所における感染状況

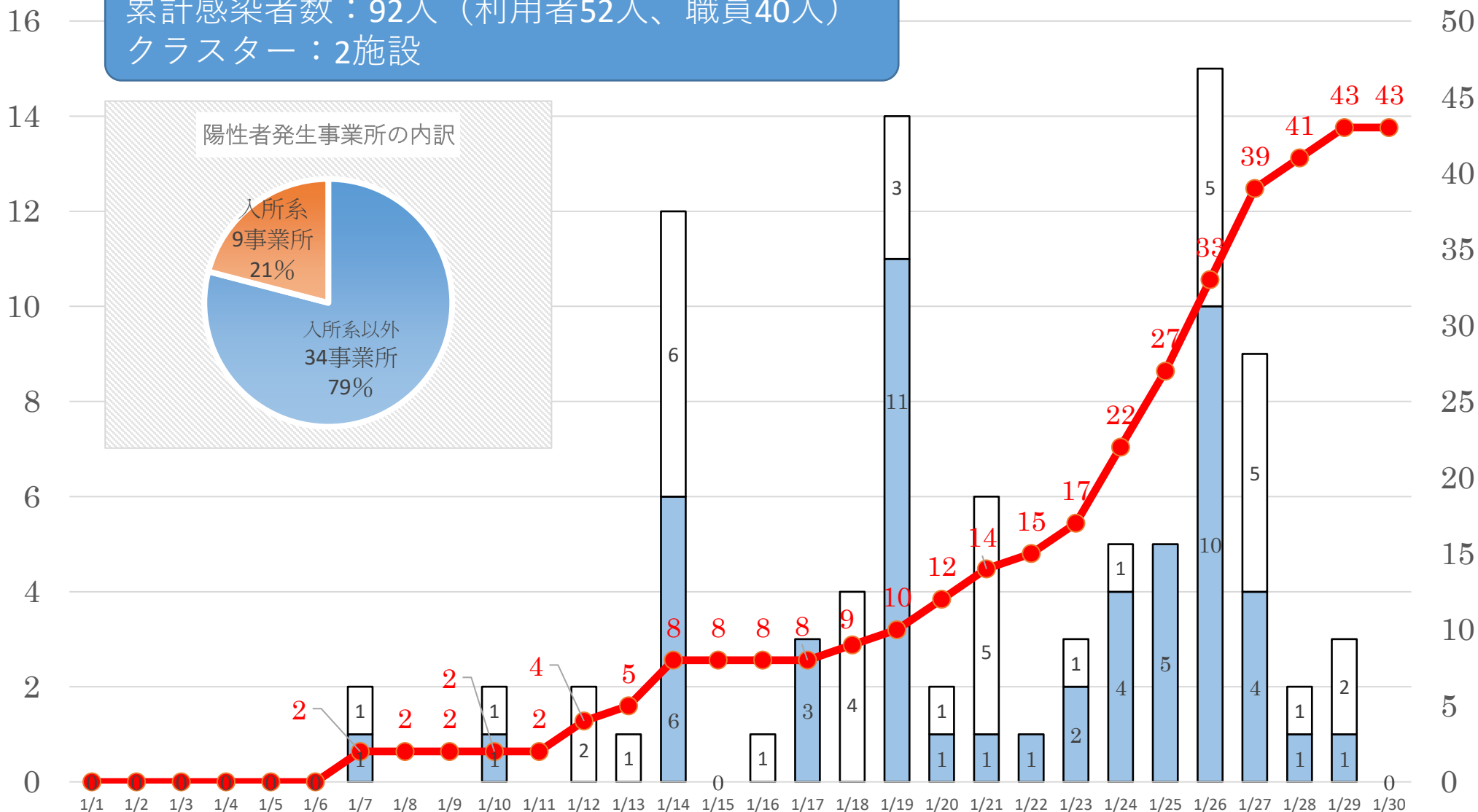
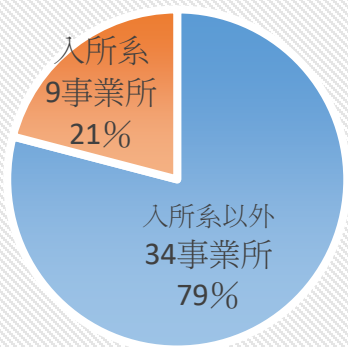
累計感染者数：162人（利用者66人、職員96人）
クラスター：4施設



市内障害福祉サービス事業所等における感染状況

累計感染者数：92人（利用者52人、職員40人）
クラスター：2施設

陽性者発生事業所の内訳



(備考)

・計上日は事業所からの報告ベース。事業所数は延べ数ではなく実数。

■利用者 □職員 ●事業所数

【3学期以降】市立学校における新規陽性者数と学級閉鎖の状況

令和4年 1月

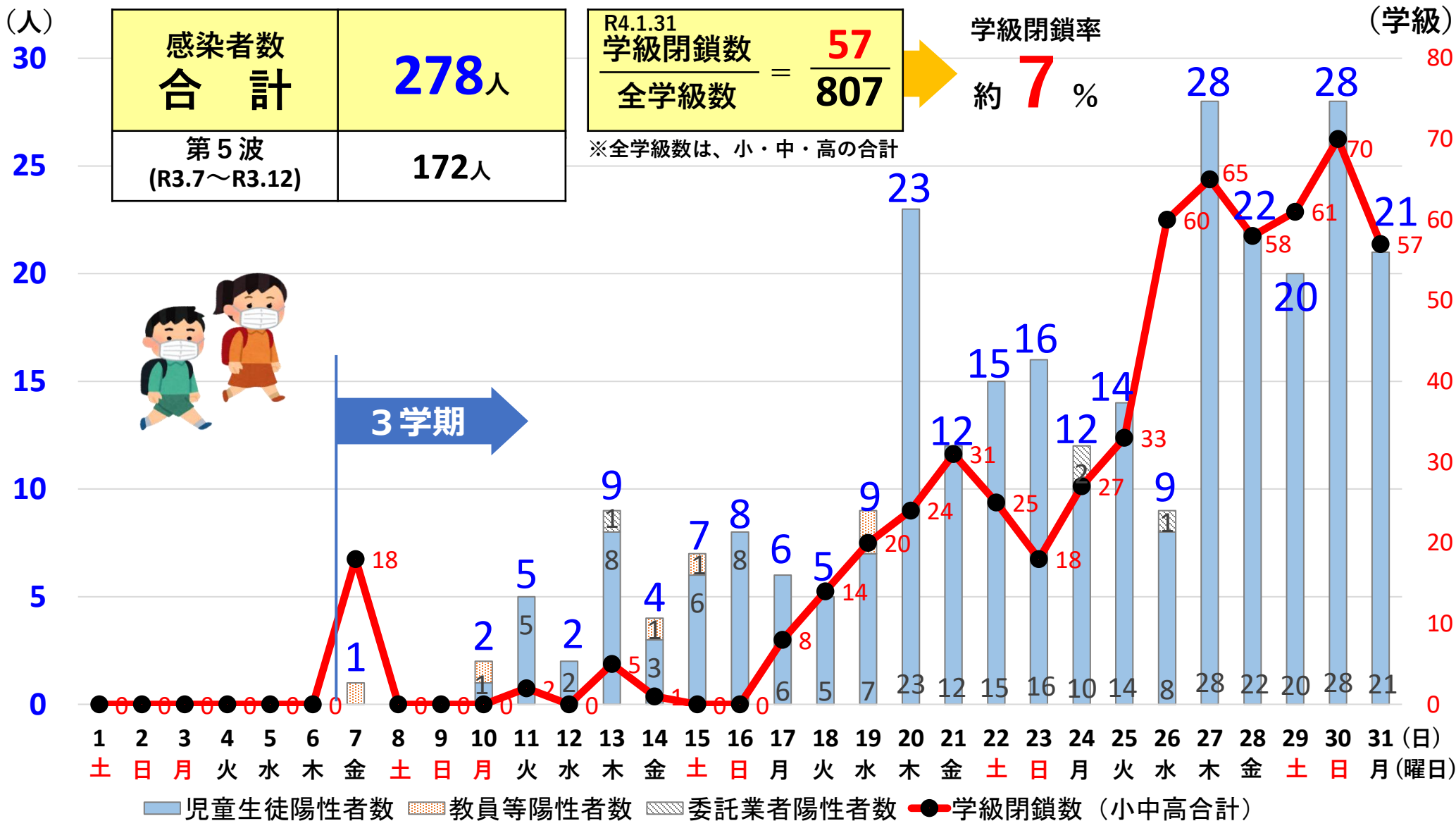
(R4.1.31現在)

感染者数 合計	278人
第5波 (R3.7～R3.12)	172人

$$\frac{\text{R4.1.31 学級閉鎖数}}{\text{全学級数}} = \frac{57}{807}$$

学級閉鎖率
約 7 %

※全学級数は、小・中・高の合計



公私立園における感染者数と臨時休業の状況

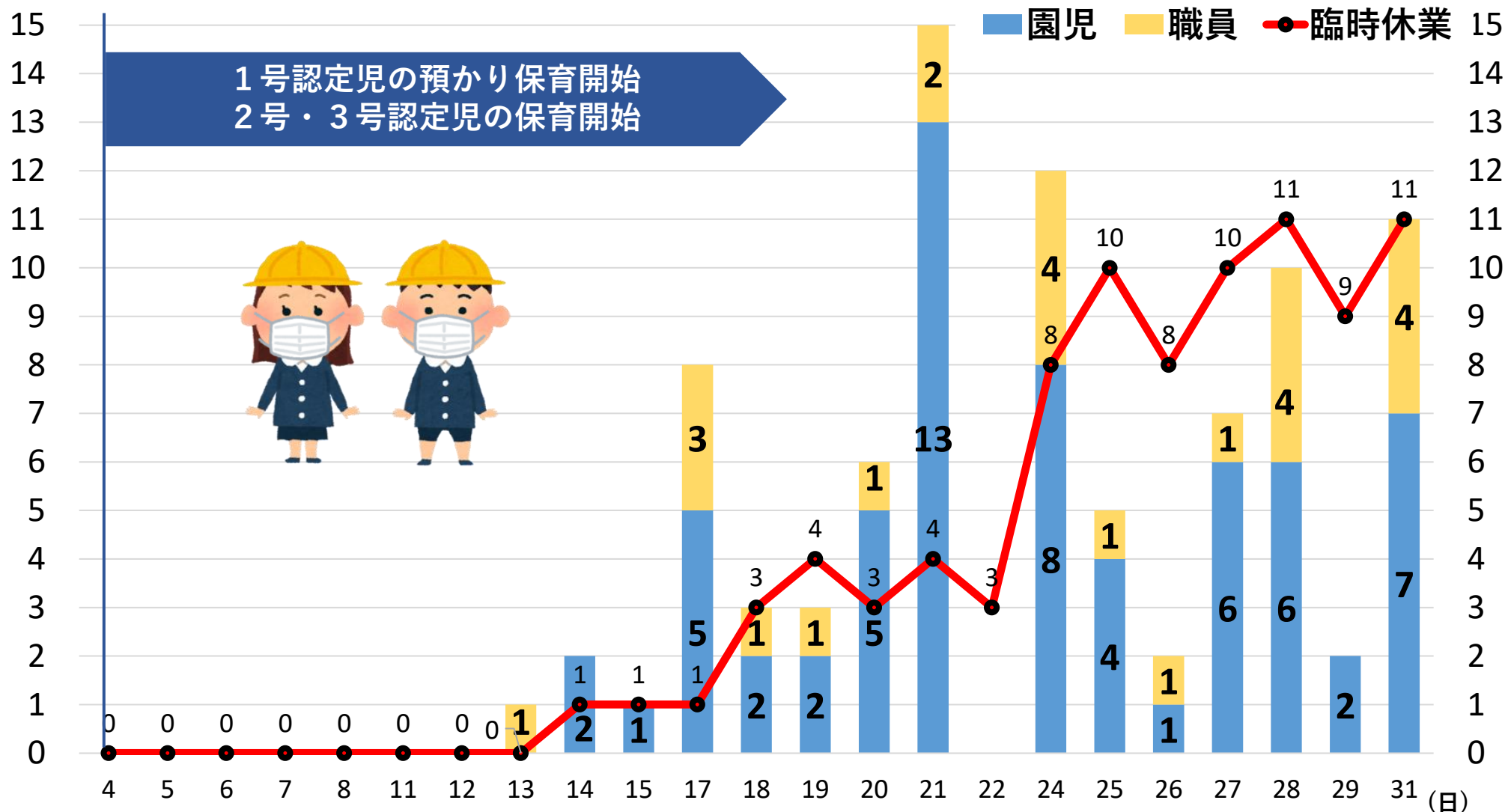
令和4年 1 月

(R4.1.31現在)

(人)

(園)

1号認定児の預かり保育開始
2号・3号認定児の保育開始



感染者数及び臨時休業件数は集計確定分のみ計上しています。

本市におけるモニタリング結果

感染レベルについての認識

レベル3 (対策を強化すべきレベル) に相当 するとの認識

(レベルは県が総合的に判断)

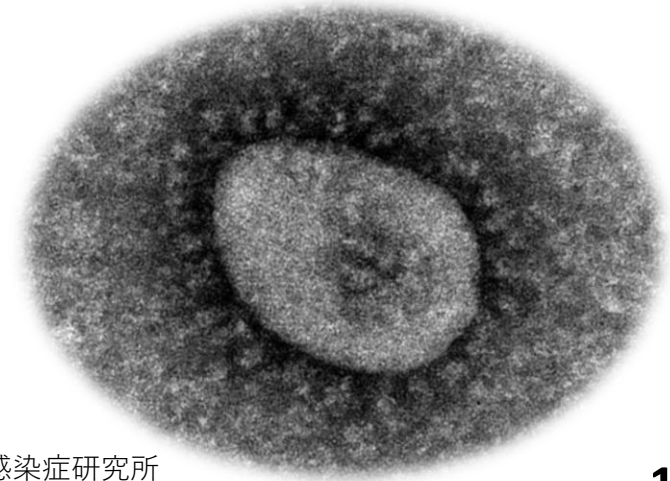
指 標		5波以前のピーク時	19日 (水)	20日 (木)	21日 (金)	22日 (土)	23日 (日)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	31日 (月)	1日 (火)	黄へ	橙へ	赤へ
県内の医療体制等の負荷	①県内の確保病床使用率	4/27 75.6%	43.1%	45.7%	50.0%	56.7%	60.1%	60.7%	62.9%	65.1%	71.8%	72.4%	71.4%	74.2%	74.6%	1 日 夕 に 発 表	10%以上	20%以上	50%以上
	②県内の入院率	11/26 0.0%	12.1%	10.3%	9.8%	9.9%	9.4%	8.9%	8.6%	7.7%	7.4%	6.6%	5.9%	5.6%	5.1%		60%以下	40%以下	25%以下
	③県内の重症病床使用率	5/9 90.6%	8.8%	11.8%	14.7%	20.6%	26.5%	29.4%	29.4%	35.3%	35.3%	41.2%	35.3%	41.2%	38.2%		10%以上	20%以上	50%以上
	④県内の療養者数/10万人	9/1 130.4人	135.3人	168.3人	193.5人	218.3人	241.7人	257.2人	276.1人	320.5人	368.0人	418.3人	456.1人	502.0人	558.9人		5人以上	20人以上	30人以上
市内感染状況	⑤市内の直近1週間陽性者数/10万人	8/28 118.3人	107.0人	148.2人	171.3人	200.0人	232.1人	261.1人	274.9人	291.3人	309.9人	323.7人	328.5人	360.8人	399.4人	451.5人	5人以上	15人以上	25人以上
市内直近1週間の新規陽性者数		8/28 420人	380人	526人	608人	710人	824人	927人	976人	1,034人	1,100人	1,149人	1,166人	1,281人	1,418人	1,603人	16		

新たなレベル分類（コロナ分科会(11月8日(月))

レベル	感染の状況など	求められる対策
レベル0 (感染者ゼロレベル)	・ 新規感染ゼロを維持 できている状況	○ワクチン接種率の更なる向上及び追加接種 ○医療提供体制の強化 ○総合的な感染対策の継続
レベル1 (維持すべきレベル)	・ 安定的に一般医療が確保 され、コロナに対し医療が対応できている状況 ・ このレベルを維持し、右記の対策を継続すれば、 教育や日常生活、社会経済活動の段階的な回復も可能	・ 個人の基本的感染防止策 ・ 検査体制の充実及びサーベイランスの強化 ・ 積極的疫学調査の徹底 ・ 様々な科学技術の活用(健康観察アプリ等) ・ 飲食店の第三者認証の促進
レベル2 (警戒を強化すべきレベル)	・ 新規陽性者数の増加傾向 が見られ、一般医療及びコロナへの 医療の負荷が生じはじめている が、段階的に対応する病床数を増やすことで医療が必要な人への対応ができていく状況 ・ 短期間にレベル3に移行する可能性があることから 警戒の強化が必要	・ 警戒強化のための見える化 ・ 自治体は人々が 感染リスクの高い行動を回避 するよう呼びかけ ・ 自治体は感染拡大防止のために 必要な対策 を講じるとともに、 保健所の体制を強化 ・ 都道府県は必要な病床を段階的に確保 ・ 国と都道府県はレベル3での対策の準備
レベル3 (対策を強化すべきレベル)	・ 一般医療を相当程度制限しなければコロナへの医療の対応ができず、医療が必要な人への対応ができなくなると判断された状況で、 概ねステージ3の最終局面やステージ4に相当	・ 事業者や国民に強い呼びかけを実施 ・ “強い対策” （大都市圏では緊急事態措置、地方ではまん延防止措置なども） ・ ワクチンパッケージは停止など検討
レベル4 (避けたいレベル)	・ 一般医療を大きく制限してもコロナへの医療に対応できない状況 ・ 各自治体の最大確保病床数を超えた数の入院＝集中治療の再配分等も	・ 更なる一般医療の制限や積極的疫学調査の重点化、都道府県間の支援等(災害医療的) ・ 国民に対しても医療の状況について周知

レベル3（対策を強化すべきレベル）に相当するとの認識 （レベルは県が総合的に判断）

- 保健所の業務は、既にひっ迫した状況
- 医療ひっ迫が目前の状況 = 重症病床使用率が35~40%超
- 高齢者などハイリスクな方へのさらなる拡大が懸念
（認知症、福祉施設でのクラスター発生など）
- 学校園における学級閉鎖などによる、学ぶ機会や保護者などへの影響拡大
- 市民生活への影響の拡大



本市の対処方針

感染状況などは「**レベル3**（対策を強化すべきレベル）**に相当**」との認識の下、医療リソース活用の重点化、ワクチン接種の加速や感染防止対策などの強化などにより、医療ひっ迫などが生じないよう、**社会機能を維持しつつ、感染拡大の抑制を目指**します。

【重点対策】

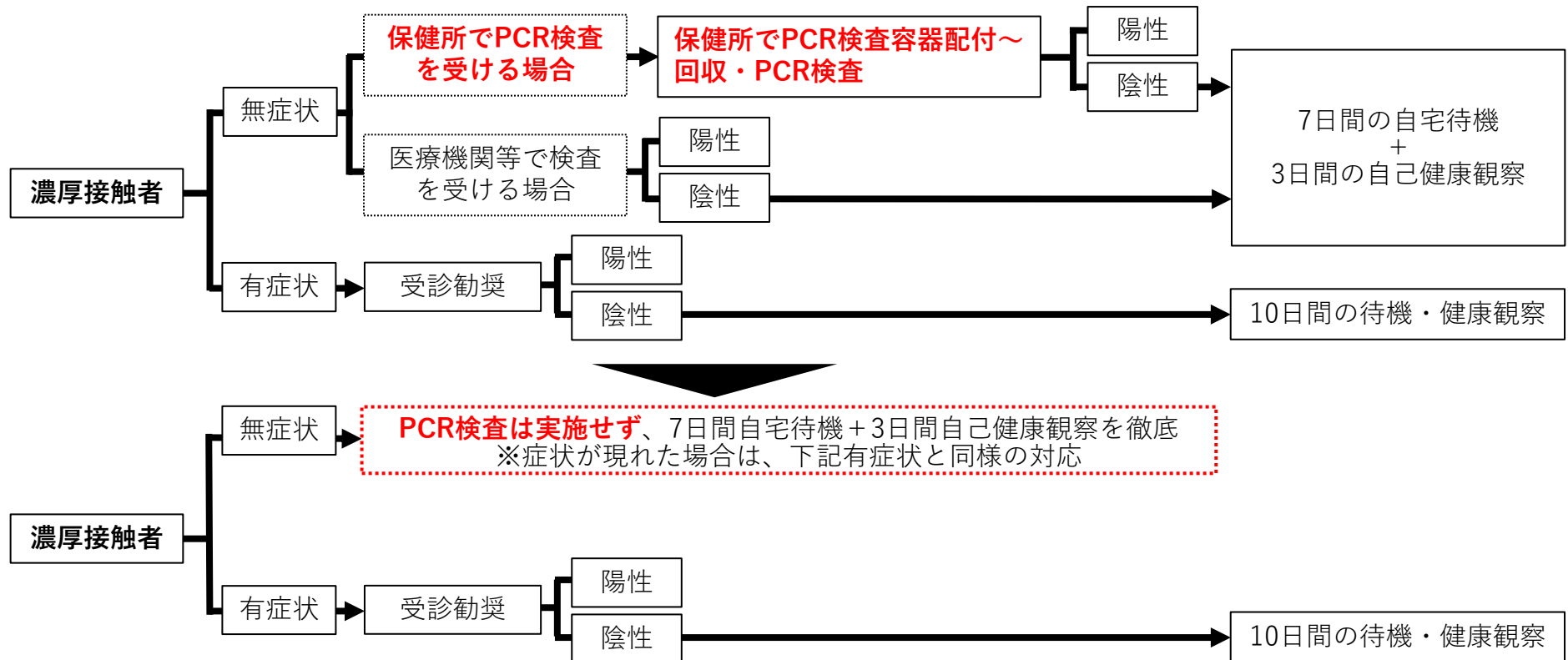
- ① **調査や検査などの重点化**
- ② **ワクチン接種の加速**
- ③ **自宅療養支援体制の強化**
- ④ **福祉施設における対応策**
- ⑤ **学校・園における対応策**
- ⑥ **事業者に対する支援**
- **保健所支援体制の強化**（保健予防課113名体制(2/1) ← 59名(8/3、第5波))
- **市民の皆様への情報発信**

① 調査や検査などの重点化

オミクロン株に起因する第6波における新規陽性者の激増、驚異的な感染拡大に伴い、

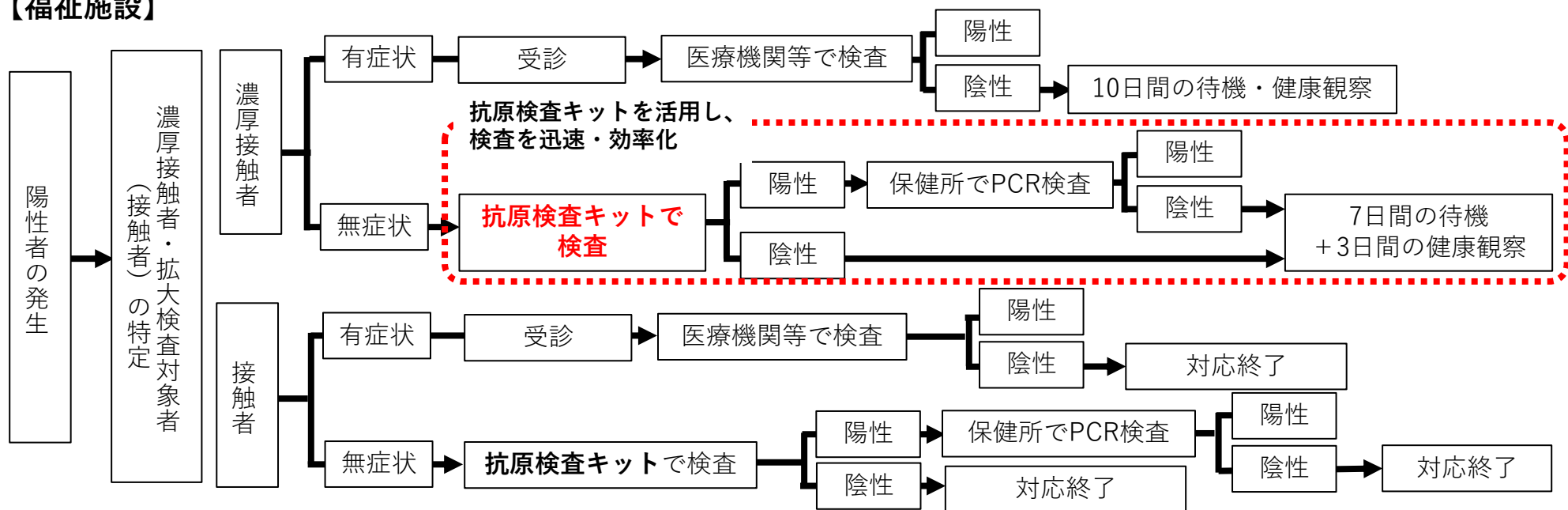
- ✓ 新規陽性者、クラスターの激増に伴い、濃厚接触者の特定など **保健所業務の逼迫が深刻化**している
- ✓ 現在すべての濃厚接触者にPCR検査を行っているが、感染拡大の中、**検査数の急増により優先的に検査すべき人の検査が遅れることとなる**
- ✓ 国において「**濃厚接触者の待機期間**」が7日に短縮され、**濃厚接触者の特定、PCR検査に費やせる日数を短縮**させる必要がある（現状、疫学調査1～2日、検査キット配付～回収2～3日、検査2日程度）

➤ 濃厚接触者となった場合の「検査の転換」

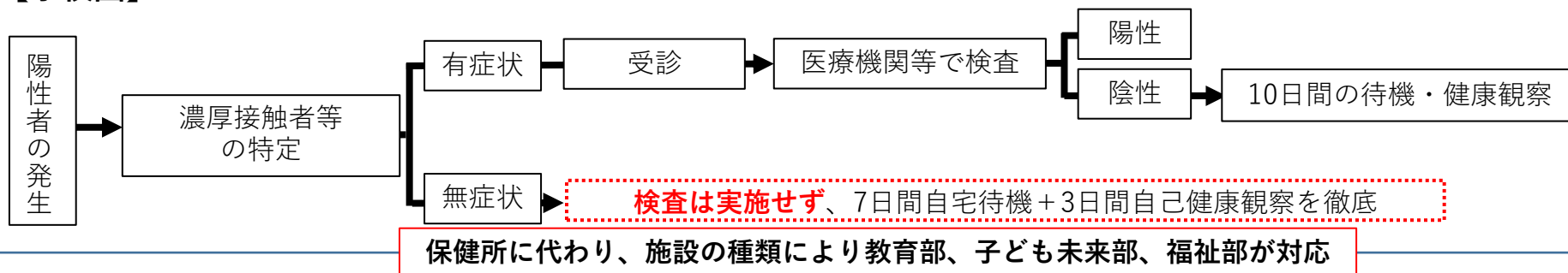


➤ 福祉施設などにおける「クラスター対応の転換」

【福祉施設】



【学校園】



【会社等】

有症状の濃厚接触者については、受診を勧奨する。

無症状の濃厚接触者については、PCR検査は実施せず、7日間自宅待機 + 3日間自己健康観察を徹底。

※エッセンシャルワーカーについては、最終接触日の翌日から4日目及び5日目に、抗原検査キットを使用した検査で2回とも陰性であれば5日目に待機解除（健康状態確認の継続、不要不急の外出自粛、公共交通機関の利用自粛、感染対策の実施は必要）

② ワクチン接種の加速

追加（３回目）接種を加速させます

追加接種を受けることの重要性を啓発し、追加接種を促進します。また、集団接種の夜間枠が定員に達していないため、**高齢者施設等の従事者について、巡回施設内接種のほか、２月７日（月）までの集団接種予約枠（夜間）を開放します。**

具体的措置：集団接種会場での接種で実施する対応

- 高齢者施設等の従事者については、巡回施設内接種のほか、**２月７日（月）までの集団接種会場の予約（夜間）が可能に。**※ ２月８日（火）以降については、予約状況を見て受付再開を検討
- ２／７に発送予定の接種券（３６,５５０人分。うち高齢者３５,６３０人分）を、２／４（金）に前倒して発送します。**２月８日（火）以降の予約枠も、高齢者が主な対象となります**

※ １・２回目接種についても、**２／７（月）の集団接種の予約枠（市役所正庁会場、夜間の部）を、１回目接種枠へ変更**（ファイザー社製使用）。

初回接種と追加接種で使用するワクチンの組み合わせによって、追加接種後の

中和抗体度が上昇します。交互相種の有効性について引き続き啓発を行います。

（引用「新型コロナワクチンの接種について（第２７回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料より抜粋）」）

初回接種		追加接種	追加接種前 抗体価※	追加接種後 抗体価※
１回目接種	２回目接種	３回目接種		
武田／モデルナ	武田／モデルナ	武田／モデルナ	88.7	同種接種 → 901.8
ファイザー	ファイザー	武田／モデルナ	24.8	交互相種 → 785.8
武田／モデルナ	武田／モデルナ	ファイザー	57.6	交互相種 → 677.9
ファイザー	ファイザー	ファイザー	21.4	同種接種 → 446.7

※幾何平均 単位：IU/ml

③ 自宅療養支援体制の強化

奈良市自宅待機者 フォローアップセンター

感染が拡大し、入院・入所の調整が困難になり自宅待機・自宅療養を余儀なくされる事例が増大する。

医師・看護師が健康観察、診察、処方、往診等を行うことにより、これら感染者の重症化を防ぐのが、「奈良市自宅待機者フォローアップセンター」である。

現在、在宅の待機者、療養者に限定して運営されており、1月7日の開設以来、累計利用者数は2月1日現在で66人である。福祉（障害）施設の入所者は、入院等が困難な者が多く、医療ケアに恵まれない事例もあると思われるので、当センターの人員増がなされた際には、福祉施設等の入所者も対象とする。

自宅療養等 サポートパック

約5日分の食料品をパッケージにした「自宅療養等サポートパック」を毎日配送し、速やかな対応により自宅療養の生活不安を軽減する。

市民への啓発



感染に備えて、非常食や水など日常備蓄を行うよう、市民に啓発（防災のための備えと兼ねて1週間分を目安とする非常食や水などを備蓄）

④ 福祉施設における対応策

課 題

- 福祉施設で陽性者が発生した場合、濃厚接触者の特定に時間がかかることから、その後の対応が遅れている。
- 抗原検査キット等の不足から、効果的に検査が実施できない。
- 施設入所者の陽性者については、入院調整をお願いしているが、なかなか決まらない。
- 入所施設において、消毒やゾーニングなどの指導・助言を仰いでいるが施設内での対応には限界がある。

対 応

- 福祉施設で陽性者が発生した場合、濃厚接触者の特定については、福祉部の対策チーム（保健師2名、事務職6名）が行う。
- 福祉施設については、必要性を適切に判断して、事業所に検査キット等を配布する。
- 施設内療養を含め、「奈良市自宅療養者フォローアップセンター」と連携して、適切な治療や迅速な対応ができるように努めていく。
- ゾーニング指導の徹底
- 福祉施設職員へのワクチン接種の加速

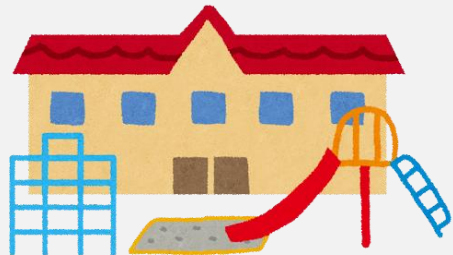


⑤ー1 学校における対応策

	現在の対応	今後の対応
臨時休業期間	学校関係者に感染が判明した場合、検査対象者が特定されるまで、学級・学年・学校単位で臨時休業（閉鎖）を実施 1～3日間程度 （翌日の対応について、都度検討） 発症日の2日前から登校していない場合は、臨時休業を実施しない。 	- 直近3日間の陽性者及び濃厚接触者が学級において複数（15%程度）確認された場合は、原則3日間※（土日祝含む）の学級閉鎖 ※感染状況によっては延長することがある。 - 複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合は、原則3日間の学年閉鎖 - 複数の学年を閉鎖することに加えて、閉鎖していない学年に感染者が存在するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合は、原則3日間の学校全体の臨時休業
部活動	平日90分以内、休日2時間以内 市外の学校との練習試合等は中止 （公式大会等は参加可）	2月3日（木）～2月20日（日）まで原則休止 直近1週間以内の公式大会等に出場する生徒以外の活動は不可

⑤ー2 園における対応策

【感染者が発生した場合の園対応】

園児・職員等の症状（※1）	園児・職員等	当該園の対応
①感染した場合	入院・自宅療養等	消毒及び園児等の健康状態を確認するため、 対策に必要な期間・範囲を休業（※2）
②濃厚接触者の場合	自宅待機 ○無症状の場合 陽性者との最終接触日の翌日から7日間待機した場合、 8日目に待機解除 （無症状の職員については 陽性者との最終接触日の 翌日から4日目、5日目にそれぞれ行う抗原定性検 査キット（薬事承認されたもの）を用いた検査で 陰性確認後、5日目から待機解除が可能） ○有症状の場合 病院受診により、医療機関等の指示に従う	通常保育 
③同居の家族が濃厚接触者の場合	同居家族の待機期間が経過するまで自宅待機	
④発熱・咳などの風邪症状がある場合	病院受診後自宅療養 （解熱後24時間経過後、呼吸器症状の改善を確認）（※3）	

※1 職員等：職員及び給食の委託業者、委託用務員

※2 臨時休業については、感染者の園における活動の態様、接触者の多寡、地域における感染拡大の状況、感染経路等を確認しつつ、これらの点を総合的に考慮し、保健所と連携の上、その必要期間・範囲を判断する。

※3 令和2年5月14日付け厚生労働省通知「保育所等における感染拡大防止のための留意点について（第二報）別紙」より

⑥ 事業者に対する支援

～ 中小法人・個人事業者向け「事業復活支援金」 ～

事業復活支援金

コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援

申請期間

2022年1月31日(月)～5月31日(火)

給付対象

①と②を満たす **中小法人・個人事業者が給付対象** となり得ます。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者
- ② 2021年11月～2022年3月のいずれかの月(対象月)の売上高が、
2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月(基準月)の売上高と比較して
50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

※計算に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策として国又は地方公共団体による支援施策により得た給付金、補助金等は、各月の事業収入から除きます。ただし、対象月中に地方公共団体による時短要請等に応じており、それに伴う協力金等を受給する場合は、「対象月中に時短要請等に応じた分」に相当する額を、対象月の事業収入に加えます(給付額の算定において同じ)。

給付額

中小法人等 上限最大250万円 **個人事業者等** 上限最大50万円を支給します。

給付額 基準期間^{※1}の売上高－対象月の売上高×5か月分

※1 2018年11月～2019年3月/2019年11月～2020年3月/2020年11月～2021年3月のいずれかの期間(基準月を含む期間であること)

給付上限額

売上高減少率	個人	法人		
		年間売上高 ^{※2} 1億円以下	年間売上高 ^{※2} 1億円超～5億円以下	年間売上高 ^{※2} 5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

※2 基準月を含む事業年度の年間売上高

- 売上減少が新型コロナウイルス感染症の影響と無関係の場合は給付対象外
- 原則電子申請。電子申請を行うことが困難な方のため、**「申請サポート会場」を設置**

＜サポートセンター（2月1日開設）＞
奈良市橋本町3-1 BONCHI 3階
（もちいどのセンター街内）
※事前予約制
（下記相談窓口にて電話のうえ予約）

※その他詳細は、「事業復活支援金HP」に掲載

【事業者への周知方法】

- **市内中小法人・個人事業者へDM等により周知**
- 商工会議所や商店街、業種団体等と連携した情報発信
- 市HP、公式SNSを活用した継続的な情報発信

相談窓口

電話番号のお掛け間違いが発生しております。お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。

0120-789-140

（携帯電話からもつながります）

※お電話は大変混み合うことが予想されますので、ホームページもご活用ください。

IP電話専用回線 **03-6834-7593**

受付時間 **8:30-19:00**
(土日・祝日も含む)

ホームページ



事業復活支援金 検索

<https://jigyoku-fukkatsu.go.jp/>

医療ひっ迫警報【命と健康を守るために】

感染が高齢者などの皆様に広がりつつあり、重症病床の使用率が35～40%を超えました。
お一人おひとりのより慎重な行動が、重症化リスクの高い皆様の命と健康を守ります。
今まで以上に、基本的な感染防止対策の徹底と感染リスクの高い行動の回避をお願いします。

- 繰り返しのお願いです
- ① 正しく使おうマスク！、こまめにしよう手洗い・消毒！、目指そうゼロ密！
+ マスクは不織布、定期的な換気の励行、人との距離の確保を
 - ② 飲食は、感染防止が徹底されたお店で、4人以下・2時間以内、大声はNG！
+ マスク会食の徹底を
 - ③ ワクチンの3回目接種を！
+ 1・2回目がまだな方は、今でも予約OK
 - ④ 感染に備えて日常備蓄を（非常食や水など）



感染状況等のモニタリング

全国及び東京都における新規陽性者数の推移

(人)

NHK「新型コロナウイルス 特設サイト」から引用

第5波ピーク時

全 国 25,992人
8月20日(金)

東京都 5,908人
8月13日(木)

1月31日(月)

過去最多

■：全 国 60,838人

84,967人 1/29(土)

■：東京都 11,751人

17,631人 1/28(金)

第4波ピーク時

全 国 7,238人
5月8日(土)

東京都 1,121人
5月8日(土)

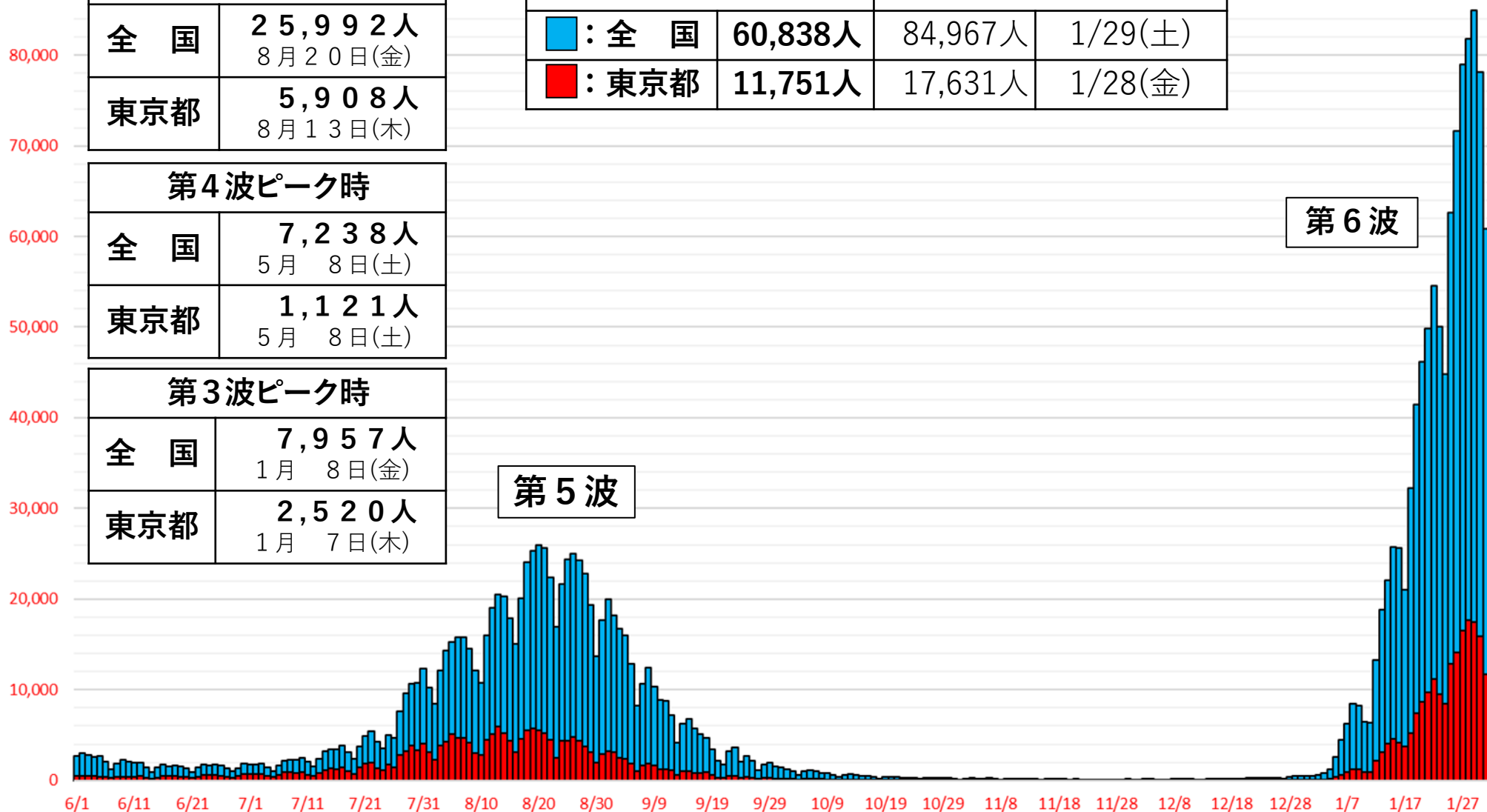
第3波ピーク時

全 国 7,957人
1月8日(金)

東京都 2,520人
1月7日(木)

第5波

第6波

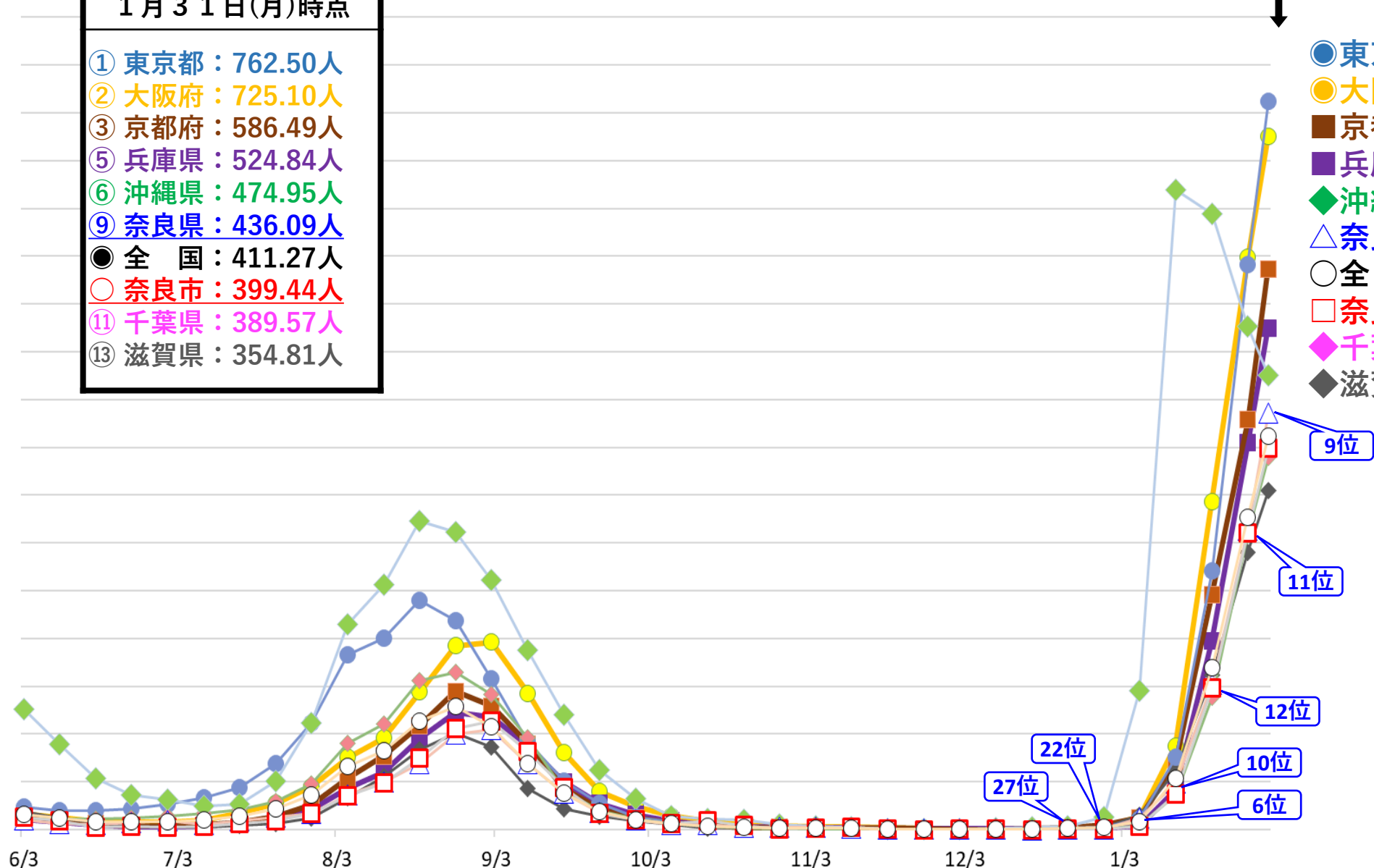


直近1週間の人口10万人当たりの陽性者数の推移

1月31日(月)時点

- ① 東京都：762.50人
- ② 大阪府：725.10人
- ③ 京都府：586.49人
- ⑤ 兵庫県：524.84人
- ⑥ 沖縄県：474.95人
- ⑨ 奈良県：436.09人
- 全 国：411.27人
- 奈良市：399.44人
- ⑪ 千葉県：389.57人
- ⑬ 滋賀県：354.81人

- 東京都
- 大阪府
- 京都府
- 兵庫県
- ◆ 沖縄県
- △ 奈良県
- 全 国
- 奈良市
- ◆ 千葉県
- ◆ 滋賀県



関西2府4県における新規陽性者数の推移(日・府県別)

(人)

20,000

15,000

10,000

5,000

0

6月1日

7月1日

8月1日

9月1日

10月1日

11月1日

12月1日

1月1日

1月31日	新規感染者数	過去最多	
大阪府	6,243人	10,383人	1/29
兵庫県	3,002人	4,634人	1/29
京都府	2,216人	2,754人	1/29
奈良県	987人	1,004人	1/28
滋賀県	464人	978人	1/28
和歌山県	318人	595人	1/28
合計	13,230人	19,743人	1/29

NHK「新型コロナウイルス 特設サイト」から引用

第4波ピーク時	
2府4県	2,175人：4月28日(水)
大阪府	1,262人：5月1日(土)

第5波ピーク時	
2府4県	5,021人：9月1日(水)
大阪府	3,004人：9月1日(水)

第5波

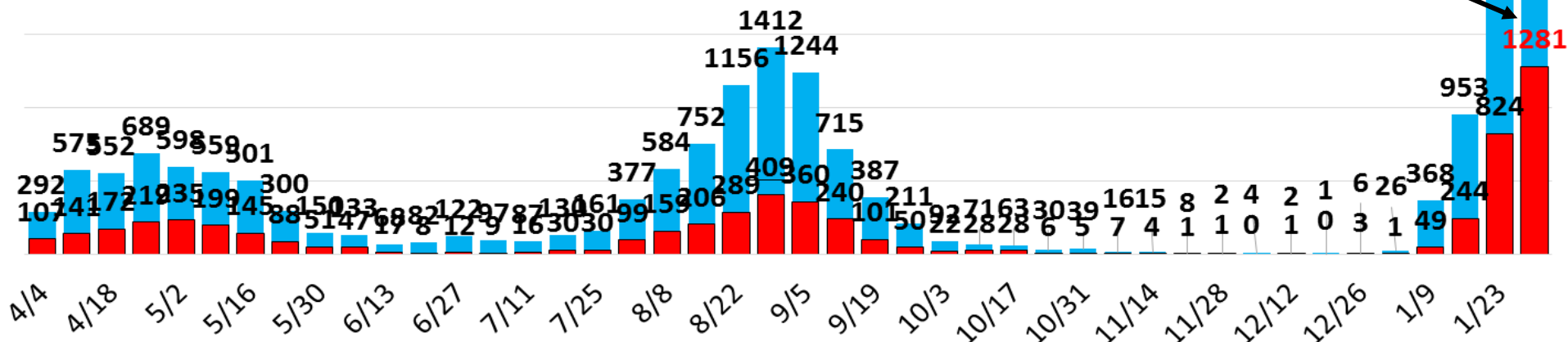
第6波

奈良県及び奈良市における新規陽性者数等の推移(週単位)

■ 奈良県
■ 奈良市

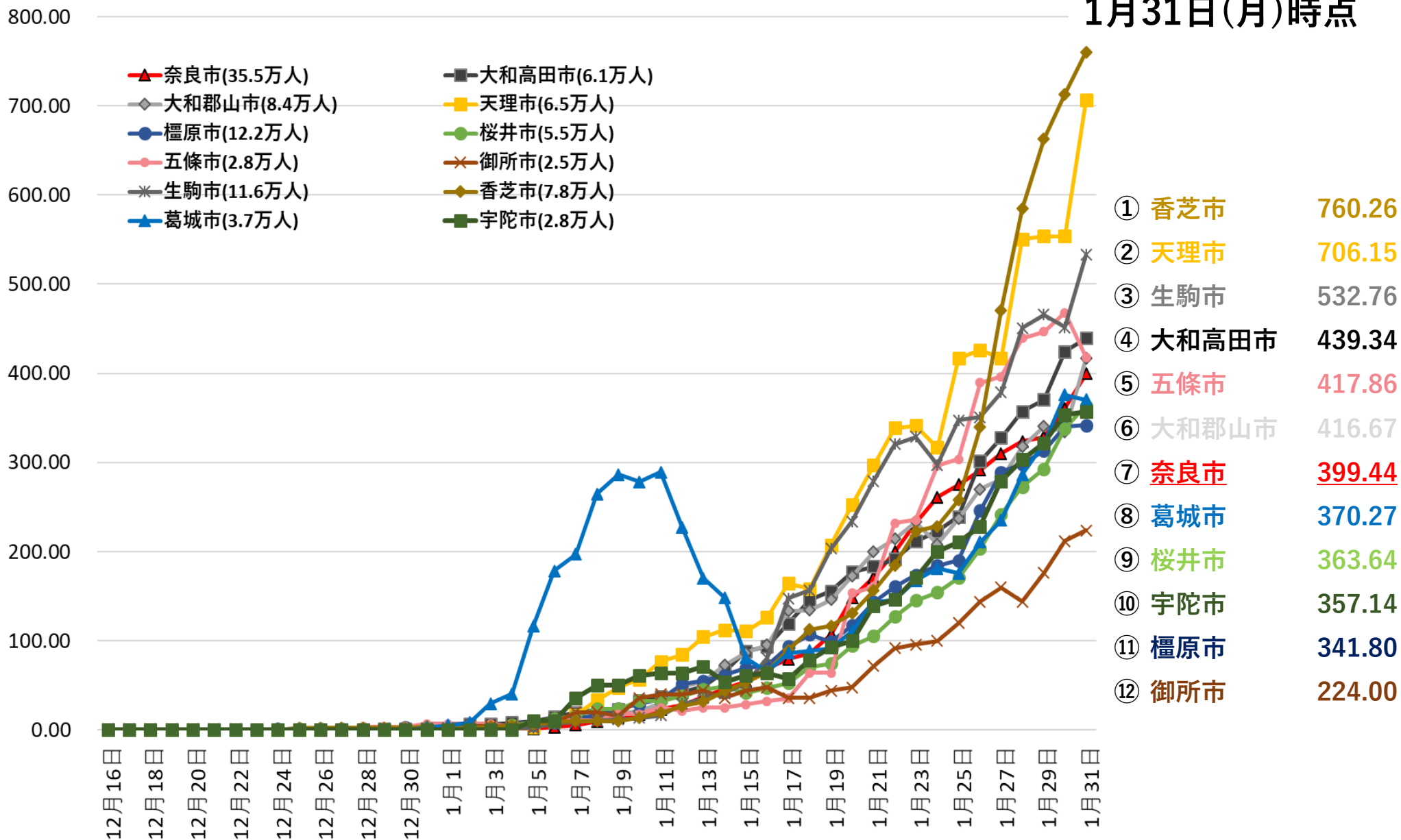
1月24日(月)～
1月30日(日)
奈良県：5,279人
(過去最多)

1月24日(月)～
1月30日(日)
奈良市：1,281人
(過去最多)



県内12市の直近1週間の10万人当たり陽性者数推移

1月31日(月)時点

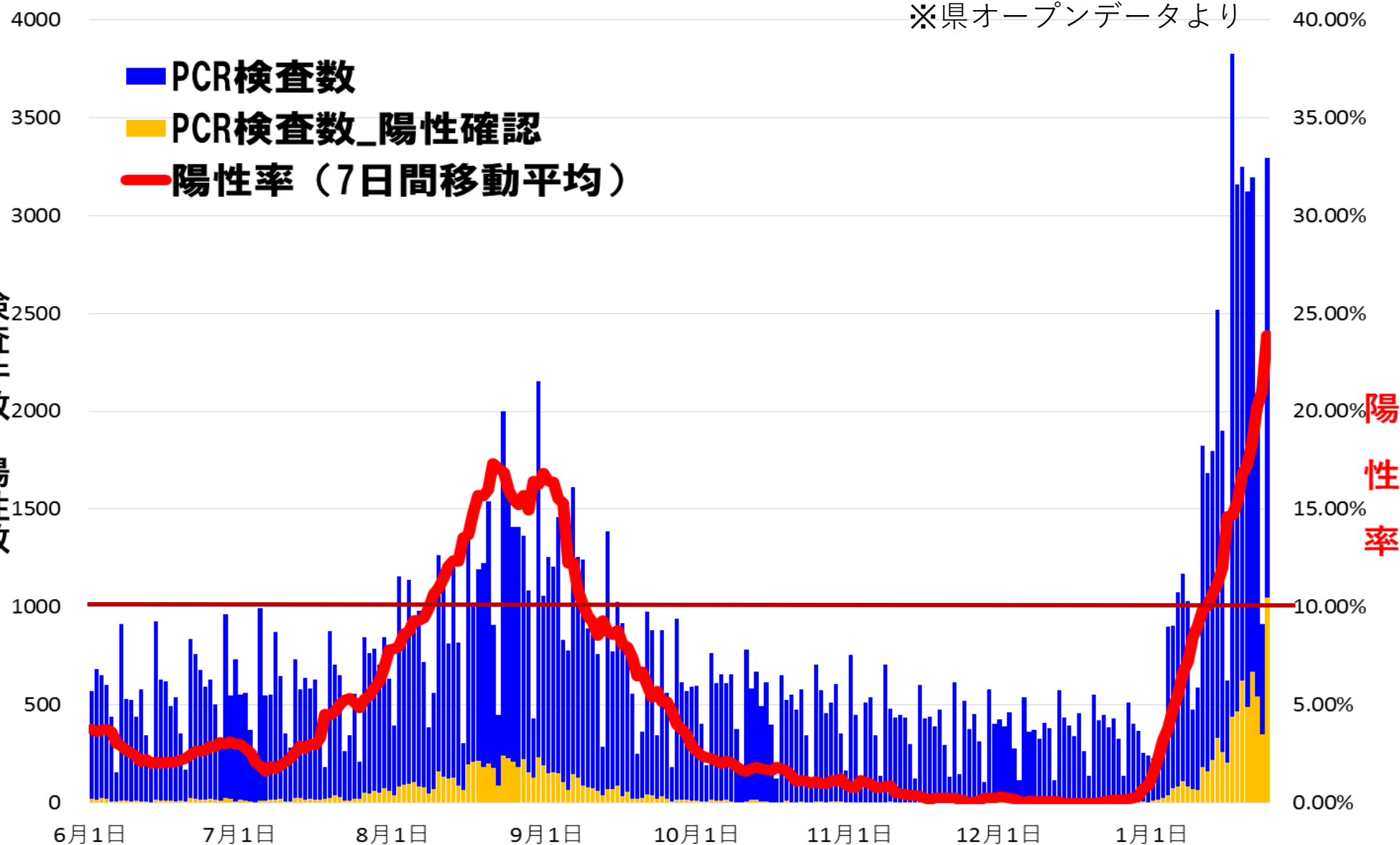


奈良県のPCR検査件数及び陽性率の推移

※県オープンデータより

検査件数・陽性数

- PCR検査数
- PCR検査数_陽性確認
- 陽性率（7日間移動平均）

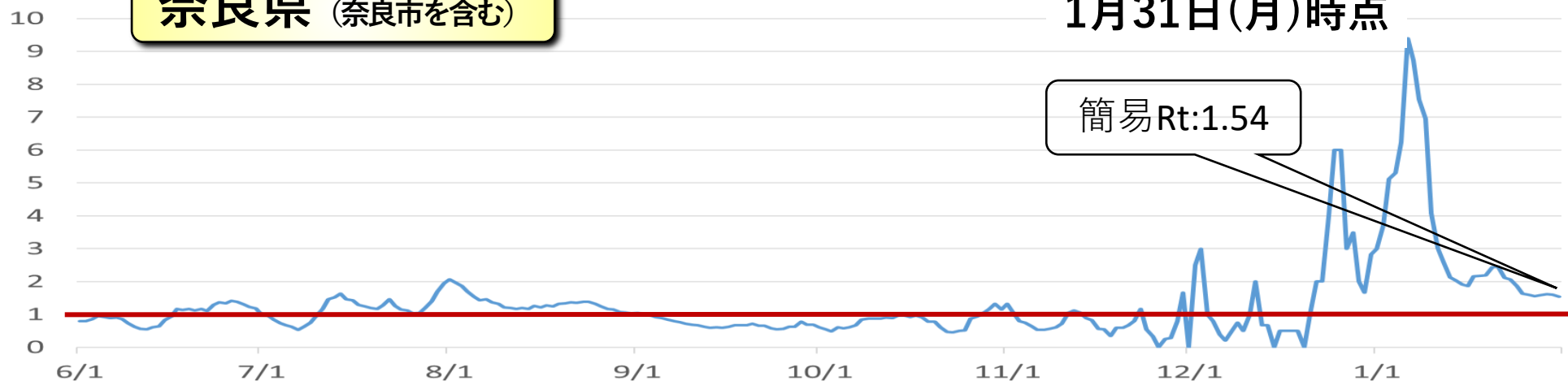


奈良県及び奈良市における簡易実効再生産数の推移(日々)

奈良県 (奈良市を含む)

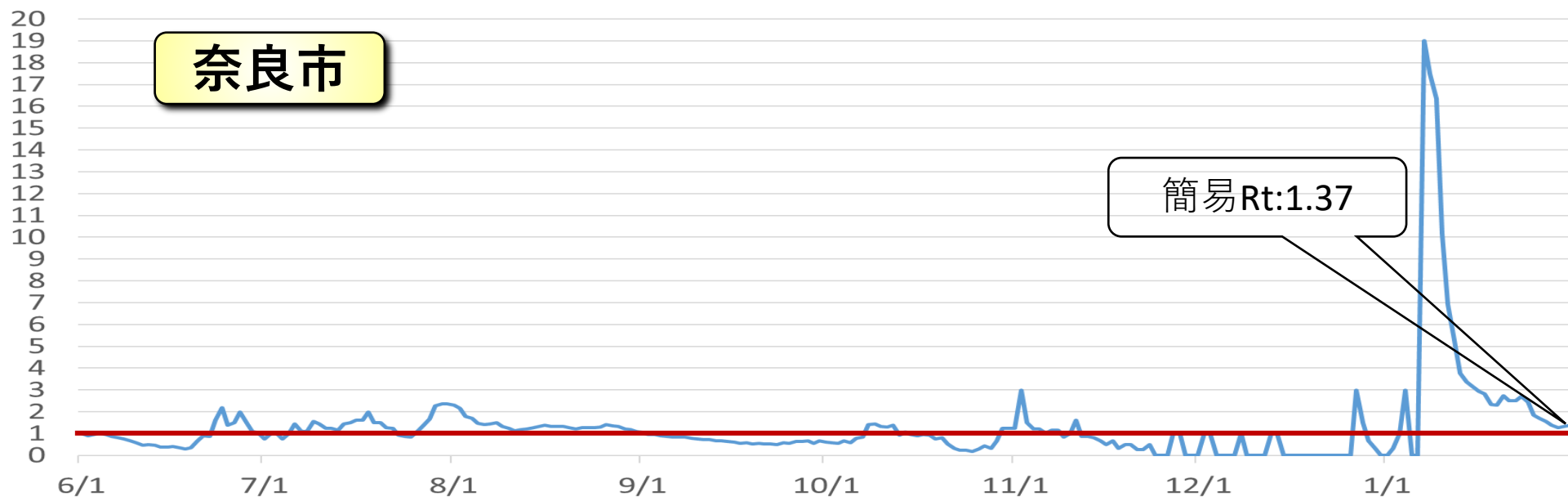
1月31日(月)時点

簡易Rt:1.54

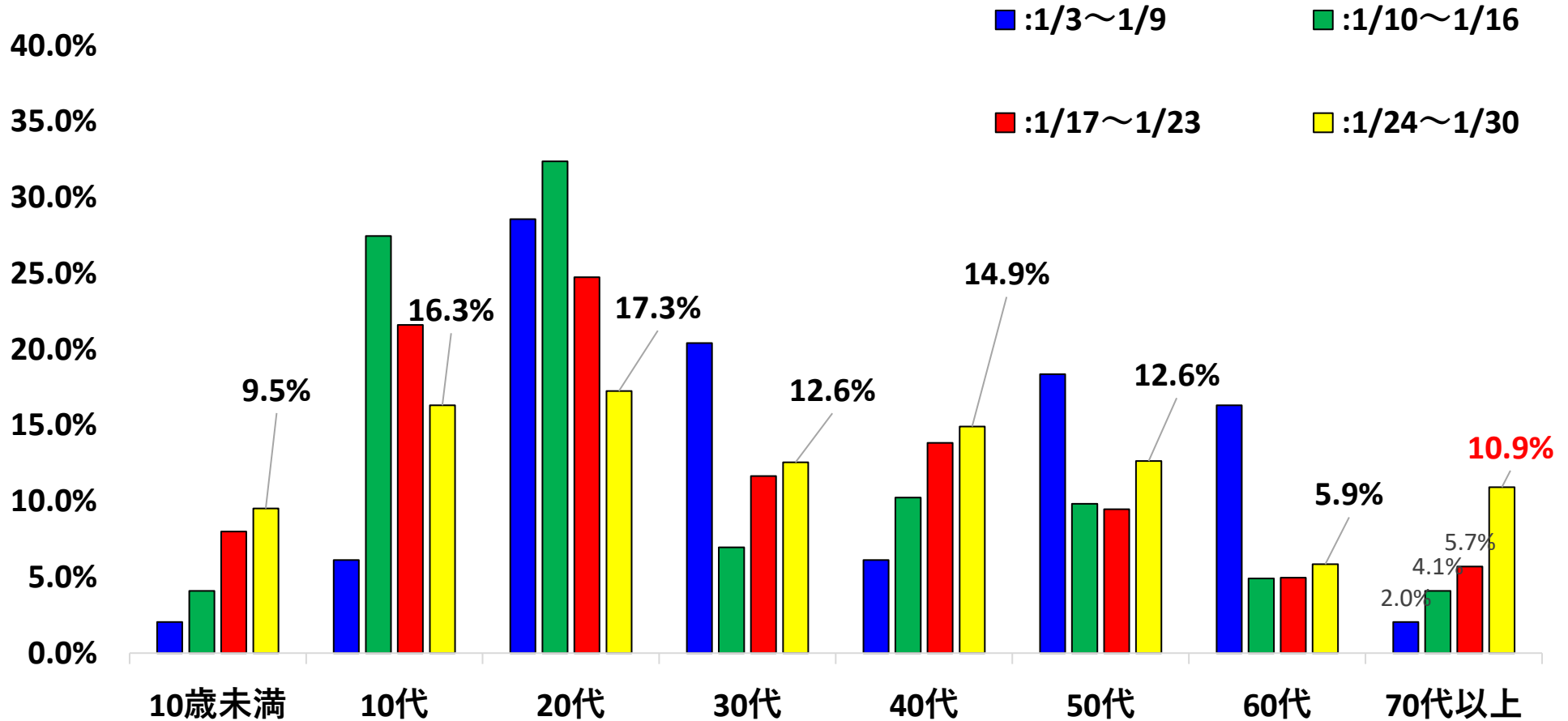


奈良市

簡易Rt:1.37



市内感染者の年代別割合の推移(R4.1)



1月下旬から10代,20代の割合が減少した一方で
70代以上の割合が増加